

## 環境社会貢献

積極的に環境社会貢献活動を推進し、国際社会・地域社会との共存共栄をめざします。

### 基本的な考え方

富士通グループでは、社員一人ひとりが地球環境の大切さを認識し、美しい地球環境を次世代へと受け継いでいくために、「地域貢献活動」、「自然環境保全活動」、「環境教育活動」を3つの柱とする環境社会貢献活動を通して、地域社会に貢献しています。なお、その他の社会貢献活動についてはP39-42を参照ください。

### 地域貢献活動

富士通グループでは、全国の支社・支店、工場などにおける環境マネジメントシステム(EMS)のサイト活動として環境社会貢献活動を実施しています。

その一環として、地域の皆様に快適な環境を提供することを目的に、清掃活動や緑化活動などの地域貢献活動を実践しています。

#### 清掃活動や花植えの実施(富士通 幕張システムラボラトリ)

富士通の幕張システムラボラトリでは、近隣の企業とともに、2003年から事業所周辺の清掃活動や花植えを実施しています。

2008年は清掃活動を2回、花植えを4回実施し、のべ262名の富士通グループ社員が参加しました。

### 自然環境保全活動

富士通グループでは、豊かな自然を守り、失われた自然環境を再生することを目的に、植林活動や森林保全活動を行っています。

海外ではこれまでにタイとベトナムでの植林活動を実施し、現在もマレーシアで熱帯雨林の再生に向けた植林活動に継続的に取り組んでいます。国内でも阿蘇山麓や高知県、和歌山県の企業の森などで森の再生に努めるなど、生物多様性保全につながる活動を実施しています。

#### 東京都の里山・雑木林の保全活動への参加活動事例

東京都の丘陵部の里山や市街地の雑木林などの保全地域を、企業とNPO、都民が一体となって保全していく「東京グリーンシップ・アクション」。富士通グループは、2005年からこの活動に参加しています。

2008年度は、6月に八王子大谷緑地保全地域で間伐作業、10月に横沢入里山保全地域で稲刈りや草刈り、2009年3月に八王子戸吹北緑地保全地域で間伐と椎茸のホダギづ

くりを行い、富士通グループ社員とその家族、のべ62名が参加しました。参加者からは、「里山を守るために、NPOや行政・企業が一体で活動していると知り、気づきを得た」「自然と触れ合い泥んこになって遊ぶ子どもたちが印象的だった」などの感想が寄せられました。



八王子戸吹北での間伐作業

#### マレーシア・ボルネオ島における熱帯雨林の再生

富士通では、生物多様性保全の観点から、世界の三大熱帯雨林の一つである東南アジアのマレーシア・ボルネオ島で熱帯雨林の再生に取り組んでいます。

2002年からサバ州森林開発公社の支援を受け、サバ州キナルト地区にある「富士通グループ・マレーシア・エコ・フォレストパーク」で、社員ボランティアによる植林を実施してきました。これまでに、外来種であるアカシアマンギウムが繁る150haの土地に、熱帯雨林の在来種であるフタバガキ種37,500本を植えてきました。

2008年度は、これまで植林してきた苗木の成長を促すため、フタバガキ種の若木の周りに生えているアカシアマンギウムの樹皮を剥いで枯らし、陽当たりを良くする環状剥離作業を行うとともに、新たに苗木を補植しました。

今後、再生する熱帯雨林での生物多様性の度合いを把握するため、定期的に鳥獣の生息状況を調査していきます。

### 環境教育活動

富士通グループは、地域の皆様や子どもたちに環境の大切さを知ってもらうため、環境セミナーや環境出前授業を行っています。

2008年度は、54カ所の学校などで、約3,000名を対象に環境出前授業を開催し、パソコンを分解しながら3Rについて学ぶ「パソコンの3R」、森林の機能を中心に自然環境保全の大切さを紹介する「自然の大切さ」、カードゲームを使って地球環境問題を学ぶ「マイアース」を実施しました。また、さらなる出前授業の要請に応えられるよう、2008年8月に富士通グループ社員を対象とした講師養成講座を実施し、新たに23名の講師を養成しました。



「マイアース」を使った武蔵野東学園での環境出前授業